

「出発進行！」

屋根裏鉄道「SkyRail」の紹介

川端 敦



はじめに
私が製作した屋根裏鉄道SkyRailを紹介させていただきます。SkyRailは、SkyRailway社が所有し、運用を行っている鉄道会社です。所有しているNゲージ車両は、新幹線車両群、JR東日本所属の車両群と近鉄特急群、機関車群、合わせて600有車両です。本線はDCC(Digital Command and Control)化されており、本線走行車両は全てコンピュータによって制御されています。在線検知機能による閉塞制御も実装していますので、列車同士の衝突、脱線等はありません(ただし、プログラムにバグがない限り)。

SkyRail統合制御画面には、6列車分の速度制御パネルが表示され、そこからノッチを投入することができるほか、ワンハンドル主幹制御装置を使つてのノッチ投入も可



SkyRail 列車制御装置



屋根裏鉄道 SkyRail



全レイアウト

能となつています。最高速度、加減速度は、全て実車を参考にしたスケール速度・加減速度となつています。**鉄道マニアになった経緯**
私は、東海地方の生まれで、おむつが蒸気機関車の煤煙で汚れるほど、国鉄の駅の近くに住んでいました。学校が終わるとよく駅に遊びにゆき、蒸気機関車を見に行ったり、休みになると知り合いに誘われて近くの機関区に遊びに行ったりしていました。そんな頃、クリーム色と赤に塗られたディーゼル特急を見て、その洗練されたデザインと強烈な色彩に、すっかりと心を奪われてしまいました。何しろその頃の国鉄といえば、黒い機関車と焦茶色の客車、少し煤けた短編成のディーゼル普通列車ばかりでした。ディーゼル特急キハ82系は、堂々たる10両編成で食堂車も連結されており、古き良き国鉄時代の代表的な特急車両だと思えます。それ以来、波はありましたが、ずっと鉄道マニアでした。最近でこそ、鉄道マニアであることを隠さずに話していますが、一時期は何となく肩身の狭い思いをしたことがあり、積極的に鉄道マニアであることを話すのを控えていた頃もありました。大学時代に旅行先で知り合った人と話をしていた時に、なんとなく「あなたは、ひよつとして鉄道マニアですか」と聞いたところ、「あなたもですか」となりました。積極的に話すことに抵抗を感じていた思いも同じであり、自分だけではなかったと確認できたことを覚えていきます。結構多くの人が「隠れ鉄道マニア」のほずである、という結論に至り、話は「隠れ鉄」の見分け方に至りました。これは、簡単!

「鉄道の写真を踏んでみる」と命じ、踏みなかつたものは隠れ鉄である、と断ずる。「試したことはありませんが、確かに有効な手段かと思えます」**鉄道模型の製作**
鉄道模型を本格的に始めたのは、2004年からです。12畳ほどの屋根裏部屋を新設したのと、職場が変わつたのを契機に始めました。それまでは、1年に一度ぐらい床にレールを並べて「スーパーひたち」を走らせていました。いよいよ固定レイアウト建設となり、CADを使って徹夜でプランを練つたりしていました。設置場所が屋根裏部屋で空に近いので、名前は「SkyRail」、新幹線は空に因んで「星降り高原駅(有効長400m)」、在来線は「天空山駅(有効長260m)」としました。隙間時間を見つけての建設で、なかなか捗りませんでした。新幹線の線路が完成したところで、2011年の震災に遭いました。レイアウトは全壊、本棚を改造して作った飾り棚にあった車両は、床に落下し、その上に大量の書籍が落下したため、ほぼ全滅。2年間は、やる気が完全に失せてしまい放置状態



天空山駅 四季島とひたち号 星降り駅に停車中の新幹線

でしたが、2013年の秋口から工事を再開しました。久しぶりに上がった屋根裏部屋で見つけたのは、リアルに脱線した新幹線車両群でしたが壊れてはおらず、これらの車両を早く走らせてやりたい、との思いから、急ピッチに作業を進めました。新たに設定した目標は、レイアウトの完全デジタル化、最終目標は完全自動運転。そのために、かなり大きな規模のソフトウェア(もちろん、個人の尺度です)の構築が必要であることもわかりました。当時、世の中はWindows時代で、私のような「**あとながき**」使いがそのまま利用できる、ハードウェア、ソフトウェア、ツールは皆無であることがわかり、かなりの作業量が見込まれましたが、2025年、ようやく完全自動運転までこぎつけました。

一方で、最近、時間ができたおかげで、乗り鉄方面でも色々活動中です。JR3社の豪華列車をはじめ、日光に向かう日立製の特別列車にも乗りました。昔は、一人旅、今は家内や孫たちと賑やかな旅行、どちらも思いい出です。「鉄の道」は、まだまだ奥が深く、極めるには、まだ相当の時間がかかりそうです。

川端 敦氏 連絡先

日立市
atsushi.kawabata.uf@wonder.ocn.ne.jp



ひたちのすれ違い

リレー随筆 (93)

毎日が出発点、笑顔で 八尾 浩二



現場が良くなっていくことが、私の何よりの喜びだった

私が日立を選んだのは、和・誠・開拓者精神という社風に強く魅かれたからだ。東芝でも三菱でもなく、日立に入社できたことは、今振り返れば大きな幸運だったと思う。長い年月を振り返っても、私が何かを「成し得た」と胸を張れるわけではない。むしろ、成し得ていないことの方が多かったのかもしれない。それでも現場に立ち続けることができたのは、導いてくださった先輩方、そして共に汗を流し、支えてくれた同僚や後輩のおかげだ。今は素直にそう思い、あらためて深く感謝している。タービンローターのバランスから始まり、カナダ、中国、インドと、異なる文化の現場に身を置く機会にも恵まれた。言葉も習慣も違う場所で、日立で学んだ“現場の精神”が確かに通じた瞬間がある。現場が少しずつ良くなり、作業者の表情がふつと変わる…。その一瞬に立ち会えることが、私にとって何よりの喜びだった。

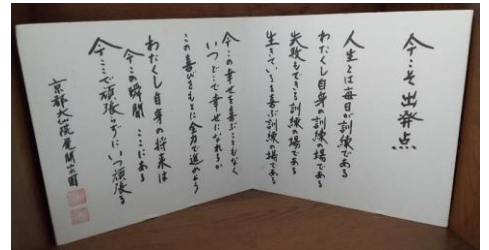
退職後、思いがけず日立地区産業支援センターから声をかけていただき、月に数日、町工場の改善を手伝っている。若い人と議論することはもちろん、現場が良くなっていくことが嬉しい。日立で受け継いだ“現場の精神”が、こうして再び息を吹き返しているように感じる。

2024年末に日立からふるさと長崎へ転居した。そこ

には、長く疎遠になっていた中学・高校時代の友がいる。離れていた年月を越えて、変わらぬ笑顔で迎えてくれた仲間が存在は、今の私にとって静かな支えになっている。故郷を離れていた間は何もできなかったが、いまは4月の古希同窓会のお手伝いをさせてもらっている。若い頃は、家族や組織のために生きることが当たり前で、自分に与えられた役目を果たすことに精一杯だった。しかし古希を迎えた今、その役目をひと区切りつけてもよいのだと感じている。これからは、外ではなく“内”を生きていい。自分の気の向く方へ、自然に歩いていけばいい。その自由が、今の私には心地よく感じられる。あの頃、もっと笑って、もっと楽しく、立ち止まる時間があったのもよかった…。そう思うことがある。現場で、私の硬さや余裕のなさが、誰かの心に影を落としたこともあったのかもしれない。だからこそ、これからの時間は、皆と、笑顔で楽しく生きていきたいと切に思っている。机には、笑顔の置物と「今こそ出発点」の色紙を置いている。今の私の心を、そっと整えてくれる。毎日が出発点。笑顔で。現場が良くなっていくことは、今も変わらず、私の何よりの喜びだ。



笑顔の置物



今こそ出発点

支部からの お知らせ

*2026年3月茨城支部役員会報告

開催日：2026年3月19日(木)

1) 第75期第2回日立社友クラブ理事会報告：

開催日：2026年3月12日(木)

- ・入会者、会員推薦者数
100名が入会し、会員合計7,371名となった。
(前年同期比25名増)
- ・日立社友クラブ取扱内規改定について
社友理事会審議事項において、「満60歳となる会員候補の審議並びに通知」を廃止する。
- ・第76回社友クラブ総会について
10月2日(金)11:00～ ホテルニューオータニ東京での開催を計画している。
- 2) 茨城支部の新入会員6名が承認された。
3月現在の会員数818名(前年同期比38名減)。
引き続き新入会員の勧誘策を検討する。
- 3) 2025年度収支見通し：3,045千円/年とほぼ予算通り推移している。
- 4) 2026年度予算は会員減少等により、対前年度比約5%の減少を見込んでいる。
- 5) 2026年度総会開催について：
5月22日(金)に場所をホテル テラス ザ スクエア日立に変更して開催する。

茨城支部新入会員勧誘のお願い

会員の高齢化に伴い会員数が減少方向にあります。どうか皆様からOB会等で各同好会の活動をPRしていただき、会員加入の勧誘をお願いします。

計報 誠に残念ですが、苦楽を共にした次の方がお亡くなりになりました。

蜂谷 武雄	令和06年07月15日	満89歳
佐川 憲彦	令和06年07月20日	満91歳
澁口 七郎	令和07年05月15日	満88歳
倉持 義徳	令和07年05月15日	満94歳
緒方 秀夫	令和07年05月31日	満80歳
永井 将之	令和07年07月04日	満87歳
荒木 浩二	令和07年07月25日	満91歳
志村 浩道	令和07年09月05日	満89歳
射場 大造	令和07年09月18日	満81歳
大島 義邦	令和07年09月25日	満85歳
大鹿 欣男	令和07年10月20日	満90歳
宮田 俊夫	令和07年10月22日	満89歳
鈴木 敏夫	令和07年10月28日	満74歳
小松 弘二	令和07年11月03日	満88歳
河原 暉	令和07年11月28日	満83歳
渡部 喜久雄	令和08年01月01日	満91歳
柴田 佳孝	令和08年01月08日	満80歳
弓仲 武雄	令和08年01月13日	満91歳
湯浅 和博	令和08年01月25日	満78歳
若杉 健一	令和08年02月27日	満88歳

同好会行事に参加して



「歩こう会」

山崎 泰廣

歩こう会は季節の移ろいを感じながら、仲間と歩くことを大切に、20年以上活動が続けられています。世話人に下見と、ルート図など資料作りを行っていただき、安全で楽しいコースを準備していただいています。

私は入会して5年になります。途中コロナで中断がありました。神社、仏閣や公園、海岸、花の名所、史跡などを巡り、地域の魅力を気軽に味わえる内容となっており、途中で立ち寄り施設についても世話人が概要・歴史の見どころを分かりやすく紹介してくれるため、散策の楽しさが一段と深まります。歩く距離も6～7kmほどで途中昼食、休憩もあり会話を楽しみながら無理なく参加できています。参加費も200円程度と手頃で、初めての方でも気楽に参加できている所が良いと思います。歩くことで心身がほぐれ、自然の中で過ごす時間が日常の良いリフレッシュになっています。仲間との語らいは気分転換となり、退職後の生活に新しい刺激を与えてくれています。更に若い世代のOBの皆さんにも参加していただければ、歩こう会に新しい視点や活気が加わり、会全体の雰囲気により明るく豊かになると思います。今後は季節ごとに企画や新しい立ち寄り先の開拓にも力を入れ、より多くの方に楽しんでいただける活動への発展を願います。これからも安全で楽しい歩こう会への参加を続けていければ幸いです。



「料理教室」

児島 強

今年1月の料理教室に参加して、3年程度になるのでしょうか？入ったきっかけは、日立社友クラブ茨城支部への入会時に、各クラブの活動紹介レクチャーがありました。その時、楽しそう、嫁さんへの負担軽減になりそう、何より自分で色んな美味しい料理を作り、食べたい・食べさせたいと思いを強くしたからです。また、近年の飽食時代に、食の大切さから「余分に作らない、残さない」を学ぶべきとも思いました。

実際参加しますと、皆さん良い人ばかりで楽しく和気あいあいに調理が進みます。講師の先生は心も美人で、見かけよりとても若く指導も上手です。調理中も適切なアドバイスを頂き失敗したことは一度もありません。ありがたいことです。材料も人数分適量ですし、何より皆さんと会話をしながら頂く食事の時は、至福の時間といえます。色んな情報を共有し、心が豊かに、勉強にもなります。四方山話も面白い「無駄話も効用となる」でしょうか？

そう、昨年12月には日立駅近のイタリア料理店で、初めての忘年会を開催しました。イタリアの前菜やスパゲティ等をビールやワインで頂きながら、酔うにつれ日立マンとしての現役時代の仕事や出張等々、艱難辛苦を生きた思い出に花が咲き、未来の日立に想いを馳せたように思います。まさに「温故知新」です。

これからも、会員皆さんとの繋がりを大切に、料理と心の幅を広げ、限りある人生を豊かに楽しみたいと思います。皆さんのご入会をお待ちしております。



「囲碁の会」

浦田 清助

私は6年前に当社友クラブに入会し、囲碁の会には日立地区と勝田地区の例会に月に各1回ほど参加しています。

私が囲碁を覚えたのは入社して3年位の頃、昼休み時間に職場の先輩に勧められたのがきっかけでした。その後、水戸工場の囲碁部に入り幹事をしながら、35歳の頃に4段まで昇段しましたが、それからは仕事に追われて囲碁は疎遠になり定年まで全く上達しませんでした。退職後70歳の頃、コンピューター囲碁が話題になっていたのも、私もNHK囲碁テキストで推奨されていた「銀星囲碁」を入手し定石等を再学習しました。

現在、私は那珂市の某コミセンで囲碁の会の取り纏めを行っています。この会は、元当社友クラブ会員で(と)出身の故梅田實氏が始められたもので、毎週金曜日午後開催、参加者は毎回12人くらいです(内女性1人)。特徴は高齢の方が多い(90歳以上4人)ので、対局中に「しまった」、「参った」、「死んだ」等の囲碁用語が大声で飛び交うことです。正式な大会では、対局中に声を出すことは禁止ですが、地域交流の場ではコミュニケーションを図る意味で良いのではないかと考えて大目に見ています。参加者から、年をとると行く所がなくなるのが一番困るが、この囲碁の会があって良かったよと、お礼を言って貰えるのが幹事冥利に尽きるところです。



「卓球クラブ」

上妻 光男

退職後、スポーツ施設に入会し遊び心で卓球を始めましたが、ご年配方の切れたボール返球に苦勞していました。半年前、ボール返球に慣れ安定してきた頃、一緒に卓球している方からのお誘いがあり、レベルアップのため茨城支部の卓球クラブに入会しました。

入会当初は朝礼で始まるため、職場の朝礼を思い浮かべ緊張感がありましたが、今では明るく楽しい雰囲気での練習にも慣れてきました。

練習を通じ卓球のレベルアップはともかく、かけがいのない人との繋がりも得ることができました。また、先輩方からのご指導を賜ることにより自分の弱点克服にも役立てています。最近では、同好会チームとして近郊の団体戦にも参加させていただいています。簡単には勝てませんでしたが、敗戦の悔しさをバネに今後の試合の勝利を目指すことで練習のモチベーションを維持しています。

卓球は、冷静さや集中力といった心の強さを必要とするメンタルスポーツと言われています。また、他のスポーツに比べて動体視力、反射神経の維持向上に役立ち、老化防止にも効果があると確信しております。このため、今後も、卓球を通じて健康維持に努めると共に、一つでも試合に勝利して強いリーグで戦えるようにしていきたいです。

同好会活動報告(2/3)

3. 勝田PC

原則として毎月第4火曜日にワークプラザ勝田で開催しています。最近ではGoogleのアプリが充実しており、それらの使い方について学習することにしています。そして最近流行のAI(マイクロソフトのCopilot、Google Geminiなど)を実際に使ってみると大変便利に利用でき、使い方の方法など幅広く学習して活用出来る範囲を拡大していく予定です。

またワークプラザ勝田が休館日の時には、ZOOMやGoogle Meetを使って自宅からの会議を開催しています。さらには参加者の皆さんの要望に応じて、いろいろなテーマを随時行っています。例えばホームページの作成、スマホに関連する内容、迷惑メールの対策など幅広く学習をしています。

勝田パソコンでは、パソコンに関する「何でも相談」も行なっています。初心者の方歓迎です。



4. 料理教室

毎月、最終週の月曜日を例会としています。料理教室にとって昨年度は苦難の年でした。料理教室の創設者である薄さん、澁口さんの相次ぐ他界、コロナ禍による会員の減少と高齢による退会者の続出です。

本会では、毎回調理を始める前に先生からレシピの解説があります。適切な調味料の選択と準備、食材の下準備と切り方、計量や火加減の調整、料理にマッチした器の選択といった調理全般のスキルを習得します。調理開始前のコーヒータイムでは、世間話に盛り上がることもあります。出来上がった料理を一緒に食べながらの評価と反省、楽しく、元氣よくをモットーに和氣藹々、とても楽しい一時です。



料理の一例

いつまでも料理を楽しんで、いきいきと暮らす料理活動は、頭を使い、手先を使い、五感を刺激するので、やる気や自信を呼び覚ます起爆剤です。毎回新鮮な発見と体験があります。



食事前の集合写真(2026年1月)

5. 野鳥・自然観察グループ

本グループは、8月を除き、毎月探鳥会を実施しています。観察場所は、主に県北・県央の公園や湖畔、河口や河川敷、里山、海岸などを月ごとに定め、季節毎の野鳥と山野草との出会いを楽しんでいます。また、観察出来た野鳥は、毎回記録に残し、年ごとの変化を確認しています。

昨年は、実施回数7回、参加人数延べ41名、野鳥観察数延べ168種、1回当たり24種の野鳥を観察した結果となりました。普段はなかなか出会うことのない、オオタカ、オオルリ、キビタキ等も観察することができ、感動のひと時を参加者で共有しています。また、年末に行われたデジカメ写真展には、会員5名から野鳥写真84作品を出展し好評を博しました。



探鳥会は、今年1月で記念すべき250回を迎え、更に300回を目指していますが、残念ながら参加者が減少傾向にあり、存続が危ぶまれる状況になってきています。探鳥会は、歩行距離は2~3km程度で健康促進にも適しており、また、野鳥の知識やカメラ等は一切不要ですので、皆様の気軽な参加をお待ちしています。

6. 写真五七五

毎月第1金曜日の例会で、詠んだ俳句・川柳を写真と組み合わせて楽しんでいます。例会では、担当を持ち回りして写真や俳句・川柳についての学習会を行い、その後各自の作品を3点披露し、合評しあって腕を磨いています。

例会行事として、課題写真で句を詠む題詠会を年2回、昨年度は7月に西行、芭蕉の名樹の景でもある栃木県芦野の遊行柳、1月には仙台市にある定義如来西方寺の五重塔の風景写真を会員にメールし、詠んだ作品で腕を競いました。そして、各地の名所を散策しながら句を詠む吟行会を年1回、11月には大みかクラブから近い大甕神社で、まず儀式殿に上がり祈禱を受けた後、本殿に登る人、境内を散策する人と各自が句を詠み、大みかクラブに戻って発表し合いました。

また、11月9日~13日の5日間多賀市民プラザ1階ギャラリーで「デジカメクラブ」「写真五七五」「野鳥・自然観察グループ」合同の2025年第21回デジカメ写真展を開催し各自の力作を披露しました。短い日程にも拘わらず沢山の人に見て頂き有難く思っています。

現在「写真五七五」の会員は19名ですが、写真+俳句・川柳にちょっとでも興味を持った方、何かしたいと思っておられる方、「写真五七五」の例会を覗いてみませんか、会員皆でお待ちしています。



2026年1月例会出席者

同好会活動報告(3/3)

7. デジカメクラブ

毎月第一火曜日におおみかクラブ内にある「おおみか拠点」において月例会を開催しています。毎回15、6名の会員が一同に集まり、各々が自由に撮影した写真をプリントやプロジェクターを使って紹介発表し、撮影の目的や苦労した点など、また会員の意見や講評などを楽しく話し合っています。勉強会として撮影技術、画像編集技術などの情報交換を行なっています。

例会とは別に不定期ですが撮影会を計画し、春には桜の名所やお花の綺麗な所に出かけたり、秋には紅葉の撮影に出かけたりして、周辺地域の四季折々の自然風景や歳時行事などの撮影を楽しみます。令和7年には真壁のひな祭り、那珂市清水谷洞公園のハスの花の撮影、東海村姉妹都市交流会館や村松虚空蔵尊の紅葉、五浦海岸の撮影、古徳沼のハクチョウ撮影やボタニカル・リゾート・林音、偕楽園梅祭りなどの写真撮影会を行いました。過去には鹿島神宮の祭頭祭、相馬野馬追、三春滝桜、妖精の森ミツマタ群生地やモビリティパークもてぎなどにも出かけています。

さらに、毎年11月に多賀市民プラザ1階ギャラリーにおいて野鳥・自然観察Gr、写真五七五Grと合同で「写真展」を実施し、メンバー一同の活動成果発表を行なっています。令和7年度は21回目を迎え、デジカメクラブのコーナーには17名の会員が58枚の力作を出展しました。全国の写真コンテストに入賞、入選した会員の作品なども展示されました。ここ数年ケーブルテレビJWAYの取材なども受け、地域住民の方々にもテレビで紹介されています。



アイガー北壁にかかる虹 ハクチョウの旅立ち

年末年始には会員同士の親睦を図る目的で懇親会を実施しています。本年は北茨城市の五浦観光ホテルにおいて日帰り温泉と撮影会を楽しみながら新年懇親会を行いました。写真や写真旅行などにご興味ある方には最適のクラブだと思います。多くの皆様の参加を会員一同お待ちしております。



日立オリジンパークにて1月例会参加者

8. 卓球クラブ

日立会瀬体育館で毎月3回(第1～3水曜日の午前中)硬式とシニア向けラージボールの卓球練習をしています。練習は怪我しないように手足、腕、腰、首などのストレッチによる準備運動を行い、ラリーなどの基本練習後にダブルスゲームを行い、最後に再びストレッチによる整理運動を行います。そして日立市、近郊の卓球大会への参加は、卓球仲間との交流・親睦とともに日頃の練習成果を試す良い機会ともなっています。年末には恒例のクラブ内親睦卓球大会を開催、クラブ内を4チームに分け混合W試合による団体戦を行いました。日頃対外試合に出場しない方もこの日ばかりは団体戦の緊張感を味わいゲームを楽しめる良い機会でした。卓球はゲームを楽しみながら運動できるので健康に役立ちます。卓球に興味のある方、始めてみたい方は日立会瀬体育館にお越しください。



9. 囲碁の会

日立地区では原則として毎月第2、第4の水曜日および第4金曜日に大みか拠点にて例会を開催しました。各自所有している持ち点の差に応じたハンディ戦にて、毎回変則リーグ戦で4回戦程度を実施しました。6、9、12、3月にはトーナメント囲碁大会を実施し、成績優秀者には賞品を贈呈しました。また、日立市民大会や常陸太田市民大会にも参加し、他同好会との交流を積極的に行っています。

勝田地区では原則として毎月第3木曜日に大島コミセン2F和室にて例会を開催しました。4、7、10、1月にはハンディ戦による囲碁大会を実施し、同じく賞品を贈呈しました。更に、ひたちなか市民囲碁大会にも参加しました。また、佐藤光則さんには「棋道七十年とAI囲碁」と題し、プロ囲碁界の現状、AI囲碁の歴史や特徴、AIソフトおよび囲碁愛好者との対局の楽しみ方等をHPに執筆頂きました。

囲碁は手で相対する“手段”です。指と頭を使うので、頭脳活性化に有効な囲碁の会(日立地区、勝田地区)に皆様のご参加をお待ちしています。



10. 旅行会

10月に埼玉県大宮市にある鉄道博物館と大宮盆栽美術館、武蔵一宮氷川神社を巡る日帰りバスツアーを企画し募集案内しました。残念ながら募集人数が集まらず中止となりました。バスのチャーター費の高騰などで少人数でのバス旅行を手頃な価格で計画することは大変厳しい状況にあります。

同好会の行事ご案内(5月~10月)

1. 第105回歩こう会

【高萩、高戸小浜海岸を歩く】

高萩駅前にある長久保赤水の記念碑を見て、断崖に沿う瑠沓(かんしゃ)神社、断崖上にある万葉の道、万葉坂、日本の渚100選高戸小浜海岸を巡り歩きます。なお、瑠沓神社、万葉の道への階段は急なためパスすることもできます。

- 開催日：5月28日(木) 雨天6月4日(木)
- 集合：高萩駅 午前9時50分
- コース：高萩駅→瑠沓神社→万葉の道→万葉坂→高戸小浜海岸(昼食)→緑のみち→高萩駅(距離5.2km)
- 持参品：昼食、飲物、雨具等
- 会費：200円(非会員500円)
- 申込締切：5月21日(木)
- 申込先：石橋康正
- Tel/携帯：0294-37-0439/080-5457-3692
- E-mail：yasumasa_ishibashi@ybb.ne.jp

2. 第106回歩こう会

【額田、旧宿場歴史の道を歩く】

鎌倉時代に築城された額田城跡、光圀公創建の引接寺、しだれ桜で有名な親鸞聖人ゆかりの阿弥陀寺、文覚上人開祖の毘盧遮那寺、額田まつりでも知られる鹿嶋八幡神社などを巡り歩きます。

- 開催日：9月25日(金) 雨天10月9日(金)
- 集合：JR水郡線(太田線)額田駅 午前9時
- コース：額田駅→引接寺→阿弥陀寺→額田城跡(距離7km)→毘盧遮那寺(昼食)→鹿嶋八幡神社→淡嶋神社→鈴木家住宅→額田駅
- 持参品：昼食、飲物、雨具等
- 会費：200円(非会員500円)
- 申込締切：9月18日(金)
- 申込先：久保謙二
- 携帯：090-9977-0203
- E-mail：kenji.kubo.km@gmail.com

研修会終了のお知らせ：研修会活動は参加人員の減少など諸般の事情により、令和7年度末をもって活動を終了することになりました。

3. 定例行事予定一覧(開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡いたします)

グループ名	実施予定日(曜日)						場 所	時 間	備 考
	5月	6月	7月	8月	9月	10月			
野鳥・自然観察グループ	19(火) 大北川	16(火) 袋田	14(火) 栗原 久慈川	休み	29(火) 栗原 久慈川	20(火) 亀下 久慈川	左記参照。 詳細は茨ネット で連絡。	9:00~ 12:00	雨天中止 参加費：¥300/回
囲碁の会	日立地区	13(水) 27(水) 29(金)	10(水) 大会 24(水) 26(金)	8(水) 22(水) 24(金)	26(水) 28(金)	9(水) 大会 23(水) 25(金)	大みか拠点	9:30~ 16:00	参加費：¥100/回、 大会：¥1500 (昼食費含む)
	勝田地区	21(木)	18(木)	16(木) 大会	20(木)	17(木)	15(木) 大会	大島コミュニ ティセンター	9:00~
料理教室	27(水)	24(水)	29(水)	休み	30(水)	28(水)	らぼーる ひたち	9:30~ 12:00	参加費：¥1700/回
卓球クラブ	13, 20 27(水)	3, 10 17(水)	1, 8 15(水)	5, 19 26(水)	2, 9 16(水)	7, 14 21(水)	会瀬体育館	9:00~ 12:00	参加費、会場費等 纏めて：¥6000/年
デジカメクラブ	12(火)	2(火)	7(火)	4(火)	1(火)	6(火)	大みか拠点	10:00~ 15:00	参加費：¥1000/回 昼食費含む
写真五七五	7(木)	5(金)	3(金)	6(木)	4(金)	2(金)	大みか拠点	9:30~ 13:00	参加費：¥300/回 昼食別途
勝田パソコン	26(火)	23(火)	28(火)	25(火)	22(火)	27(火)	ひたちなか市 ワークプラザ	13:15~ 16:00	参加費：¥500/回

注1) 旅行会(連絡先：溝口忠憲)は開催が不定期なので、茨ネットを通じて開催をご案内しています。

注2) 各グループの連絡先：野鳥・自然観察(古林克己：0294-43-7225)、囲碁(真鳥岩男：0294-74-5285、七海清：029-273-8450)、料理教室(並木慎一郎：029-283-1476)、卓球(宮原養治侶：0294-53-6147)、デジカメ(溝口忠憲：029-219-6576)、写真五七五(細江徹：0294-42-9126)、勝田パソコン(佐々木六漏：029-275-2567)

一同好会新入会員の募集

会員の高齢化に伴い会員数が減少方向にあります。OB会等で同好会活動のPRをお願いします。

また、同好会活動にご興味のある方は本頁に記載の各グループ連絡先にお問い合わせください。

皆様のご参加をお待ちしております。

同好会幹事長 志田統一

編集後記 新芽の季節、茨城支部総会の案内とともに茨城支部便りをお届けします。川端様からは、写真では実際の鉄道と見える精緻なDCC化された鉄道模型(Sky Rail)設計・制作・建設の稿を頂きました。完全自動運転のソフト作成などの挑戦に感動します。乗り鉄での賑やかな旅も参考にしたいものです。八尾様からは、貴重な職場経験とその後の活用歴、そして「今こそ出発点」として新しい生活スタイルへの転換を図る近況報を頂きました。新規一転も大切と感じます。 瀧澤 照廣